

CI-500 塩化物（高濃度）

発色：透明→白濁

測定原理：希釈と塩化銀比濁法

測定範囲：20 ~ 500 mg/L (ppm)

試薬：DPR-Cl R-1（滴ビン）, R-2（滴ビン）

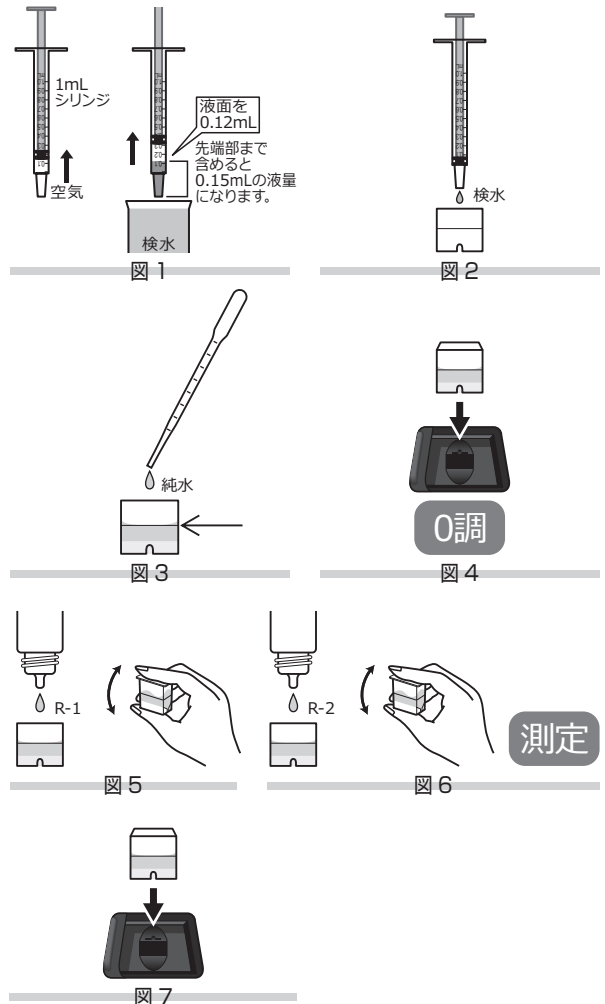
測定時間：R-2 試薬投入後 3分

セル：専用カップ

使用波長：615 nm

測定方法

- 1.【CI-500】を押します。
- 2.【決定】を押し、測定画面に切替えます。
3. 付属の1mLシリンジに空気を約0.2mL吸い込んでから、続けて検水を吸い込み、液面を0.12mLの目盛に合わせます。(図1)
4. シリンジに採った検水を専用カップに移します。(図2)
5. 純水を、付属のポリピペットで専用カップの線まで加えます。(図3)
6. 専用カップをセルボックスに入れ、【0調】を押します。(図4)
7. R-1試薬を1滴加え、蓋をして2～3回振ります。(図5)
8. R-2試薬を1滴加え、すぐに蓋をして2～3回振り、【測定】を押します。(図6)
9. 専用カップの蓋を取り、セルボックスに再びセットし、静置します。(図7)
10. 経過3分後に濃度が自動表示されます。



注意

1. 「Cl 塩化物」の項目をご参照ください。
2. 「測定方法」5. では、純水が必要です。別途純水をご用意ください。(水道水は使用しないでください。)
3. 付属のシリンジの代わりにメスピペット等を用いると、より正確に測定することができます。

共存物質の影響

内蔵の検量線は、標準液を用いて作成しています。他の物質の影響が考えられる場合は、公定法と比較するか、標準液添加法により測定値を確認してください。

右表は、標準液に単一の物質を添加した場合の測定値への影響データです。

10000mg/L以下は影響しない	…Al ³⁺ 、B ³⁺ （ほう酸）、Ca ²⁺ 、Co ²⁺ 、Cr ³⁺ 、Cu ²⁺ 、F ⁻ 、Fe ³⁺ 、K ⁺ 、Mg ²⁺ 、Mn ²⁺ 、Na ⁺ 、NH ₄ ⁺ 、Ni ²⁺ 、NO ₂ ⁻ 、NO ₃ ⁻ 、SO ₄ ²⁻ 、Zn ²⁺ 、フェノール
5000mg/L //	…シリカ
2000mg/L //	…PO ₄ ³⁻ 、陰イオン界面活性剤
100mg/L //	…Fe ²⁺
50mg/L //	…残留塩素
10mg/L //	…Ba ²⁺ 、Br ⁻ 、Cr ⁶⁺ （クロム酸）、I ⁻ 、Mo ⁶⁺ （モリブデン酸）
少しでも影響する	…CN ⁻

試薬に関するお知らせ

試薬に同梱の使用法をご参照ください。

測定液のpHは検水のpHと同等です。